

# 障がい者と共に 生きる社会

## ～地域生活に必要なサポート～

日 時: 2012年 **11月24日 sat.** 参加費  
**無料**

13:00 ~ 17:00

募集人数: **300**名

会 場: 文京シビックホール(小ホール)

共 催: 文京区

### PROGRAM

**講演** 『**耳の不自由な人々の参加とサポート**  
～耳の不自由な人々が地域で生活するために～』

植村英晴 (日本社会事業大学専門職大学院研究科長)

**シンポジウム** 『**障がい者の地域生活移行を推進するために**』

【同会・趣旨説明】 **古屋龍太** (日本社会事業大学専門職大学院准教授  
精神保健福祉士)

**報告①** 障がい者相談支援事業による  
地域生活支援の現状と課題

【シンポジスト】 **秋山あや** (社会福祉法人みのり福祉会  
障がい者相談支援事業生活支援センター日向)

**報告②** 日本最初の知的障害児者施設における  
地域生活移行の取り組み

【シンポジスト】 **長崎富美子** (社会福祉法人滝乃川学園本部)

**報告③** 精神障がい者の地域移行・地域生活支援の  
現状と課題

【シンポジスト】 **大石信弘** (社会福祉士・精神保健福祉士事務所  
「静岡まちとも」)

**報告④** 地域生活に必要なサポート～当事者の立場から

【シンポジスト】 **成瀬由美子** (社会福祉法人 JHC 板橋会、  
ピアカウンセラー)

**報告⑤** 障がい者の地域生活移行を推進するための方策

【指定討論者】 **内山博之** (日本社会事業大学社会福祉学部教授)

自立支援法が障害者総合支援法と改正され、難病等が障害福祉施策に含まれるようになるとともに、重  
護の対象者の拡大、ケアホームのグループホームへの一元化などが実施されることになりました。これ  
のある人も普通に暮らし、地域の一員として共に生きる社会作りを目指す一歩として評価することもで  
しかし、施設から地域へという生活の移行が進んでいない、様々な情報が入らないなど障がい者が地域  
活するためには多くの課題があり、平等な市民としての地域社会に参加する仕組みが十分に整っていま

、本専門職大学院では、福祉実践フォーラムにおいてこのテーマを取り上げ、多角的な見地から論議す  
しました。

の福祉、地域生活に関心のある方々にご参加戴きたいと思ます。

## 申込方法

フォーラムの参加を希望される方は、本学  
ページの参加申込フォームよりお申し込み  
定員になり次第締め切らせていただきま  
お、電話・FAX・郵送によるお申し込み  
しておりません。

申し込みされた方には、『参加票』をお送り  
します。当日は、送付された参加票をお持ち  
直接会場の受付にお越し下さい。

いただいた個人情報、参加者名簿作成、  
票、案内書等の送付、緊急時の連絡以外に  
用いたしません。

## 申込先

〒555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

社会事業大学大学院教務課宛

<http://www.jcsw.ac.jp>

のトップページ右側のアイコン「福祉フォーラム」よりお入り下さい。

## その他

に受付し、定員になり次第締切させていた  
す。

スケジュール等は変更になる場合がございます  
ご了承ください。

のために特別な配慮が必要な方は、あらか  
申し出ください。

## 交通機関のご案内

### 【文京シビックホール所在地】

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21

### 【最寄駅】

- 東京メトロ丸ノ内線 後楽園駅  
4b または 5 番出口【徒歩 3 分】
- 東京メトロ南北線 後楽園駅 5 番出口【徒歩 3 分】
- 都営地下鉄三田線 春日駅
- 都営地下鉄大江戸線 春日駅（文京シビックセンター前）  
文京シビックセンター連絡通路【徒歩 3 分】
- JR 中央・総武線水道橋駅【徒歩 10 分】

### 【車でお越しの方】（高速道路ご利用の方）

- 首都高速 5 号線池袋線  
{ 都心環状線からお越しの方は西神田ランプ、高島平方面  
からお越しの方は飯田橋ランプ } を降りて白山通りをお入  
りください。白山通りを巣鴨方面へ進み、春日通りとの  
交差点（春日町交差点）を左折し、1 つ目の信号を左折す  
ると、左側に文京シビックセンターの駐車場入り口があり  
ます。
- 駐車場（高さ制限 2.5m）は、有料（30 分 250 円）でシビ  
ックセンター地下 1 階、地下 2 階に 130 台分あります。  
ただし、満車になる場合もあります。

